

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和5年2月28日

事業所名 下関市こども発達センターはたぶ園

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	13	2	・部屋の中を構造化している為、パーティション等あり狭い。 ・10人定員のクラススペースは狭い。	利用者数・利用定員に対する施設基準は満たしていますが、活動内容や子ども達の様子によっては、十分なスペースが確保できない場合もあります。その際には、空き部屋を利用する他、ホールや園庭などの使用時間をクラスごとに時間割りするなど、空間確保に努めたいと考えております。
	2 職員の配置数は適切である	10	4	・正規職員の数が少ない。 ・嘱託職員の人数が足りていない。 ・産休代替が配置されていない。 ・職員の資質によるところも多く、人数だけの問題ではない。 ・10人定員に4人の職員では狭くて刺激も多い。	各クラス職員数は適切に配置しております。人数が足りていない時は、その都度求人を出し人材確保には努めています。 今後もそれぞれの職員が適切な療育支援を行うことが出来るように職員一人一人の資質向上に努めて参ります。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	14	1	・玄関からクラスに向かう中遊具等の刺激が多くお子さんが滞る。帰りも同様。	建物の構造上、玄関からクラスに向かう途中に遊具があり、新年度は子ども達が混乱してしまう事は把握しております。しかし、視覚カードや具体物を使用するなどして子ども達に負担がかかる事なくクラスに促していける様に配慮しています。今後も子ども達が負担なく過ごす事が出来る様に努めていきたいと考えております。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	12	3	・コロナ禍で消毒、換気等含め清潔を保っている。 ・老朽化の為汚い所もある。 ・2グループに分かれて行いたい時に部屋数が足りない事がある。 ・建物の老朽化に伴い要所の不具合、不潔が目立つ。	建物が老朽化していることは承知しております。不具合が生じた際には、購入または修繕により対応いたします。利用者の方々の安全を最優先とし、清潔で心地よく過ごせる環境を提供して参ります。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	12	3	・行事の精選が今以上に必要。 ・育児困窮家庭の支援をあつくしてほしい。他は地域事業所に任せ、支援するセンターに期待したい。	
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	15	0		
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	15	0		
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	15	0		
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	15	0		今後も研修を通して、職員の資質向上を目指します。外部研修や内部研修、自主研修など研修参加の機会を確保し、その都度情報提供を行って参ります。
	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	15	0		児童発達支援計画作成前には、アセスメントを十分に行い、ニーズを見極めた上で、適切なサービスの提供に努めたいと考えております。
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	14	0		
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	15	0		
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	15	0		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	12	3	・クラスミーティングやケース会議等 ・預かり等によりカンファレンスの時間が組み込まれていない。	ミーティングや会議等でクラスの状況をしっかり話し合った上で立案を行うように努めております。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	14	1		各クラス活動内容の情報共有の場を設けたり、研修での学びを全職員へフィードバックする機会を設けるなどして、活動が固定化しないように努めたいと思います。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	14	1	・小グループ活動を取り入れている。	クラス活動の基本は個別と集団活動としており、個別支援計画もそれに沿った形で適切に作成しています。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の内容や役割分担について確認している	12	3	・ホワイトボード等を使用して連絡を図る。	勤務時間が異なるパート職員の為、療育時間前にクラスリーダーを中心とした内容確認を出来る限り行うように努めて参ります。十分な打合せが困難である場合は、書面化することで共通認識を図っております。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	11	4	・ビデオ等を使用して振り返りを行っている。 ・職員によっては指示や確認をしない人もいるので戸惑う。	パート職員はシフトにより全員参加が難しい時もありますが、出来る限りクラスリーダーを中心とした振り返りの機会を確保するように努めて参ります。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	15	0	・正規職員の負担が多すぎる。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	13	0		
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	14	1	・コロナ禍の為、最低限の人数で行われている。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	15	0		主に相談担当職員が窓口となり連絡を取り、必要な情報は関係職員と情報共有を行っております。 事案により、担当職員が直接主治医や児童相談所、他の児童発達支援センターとコンタクトを取り合っております。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	13	2	・看護師研修はない。	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	14	1	・看護師研修はない。	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	14	1		
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	15	0		
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	15	0		
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	5	10	・コロナ禍で減っている。 ・コロナ禍の為、交流の機会が持てていない。 ・余裕のある休日にイベントに参加してはどうか。	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	12	3	・一部の職員が参加している。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	15	0		
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っている	15	0	・研修等を行っている。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	15	0		
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	15	0		
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	14	1		
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	13	2	・コロナ禍で減っているが、ママアグやクラス懇談会等で行っている。	
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	15	0		
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	15	0		
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	15	0		
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	15	0		
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	9	6	・コロナ禍の為、出来ていない。	
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	13	1	・保護者に周知しているかはわからない。	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	13	0		
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	13	0		
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	13	0		
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	13	0		
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	13	0		
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	13	0		